



作成日 2016/01/06

改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ユービーカチオン混和液 (GHS)
 製品コード CE-F01-1138
 供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社
 住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
 電話番号 03-5419-6206
 FAX番号 03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 自然発火性液体 区分外
 健康有害性 生殖毒性 区分1B
 環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分3
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 H402 水生生物に有害

注意書き 予防策

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

対応

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

廃棄

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
 化学名又は一般名

混合物
 アクリル系共重合体樹脂

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アクリル共重合体	10~20%	不明	—	—	
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	0~2%	不明	(7)-172	—	9016-45-9
フタル酸ジノルマルブチル	0~2%	C16H22O4	(3)-1303	公表	84-74-2
水	85~95%	H2O	—	—	7732-18-5
その他	0~1%	不明			

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)	フタル酸ジノルマルブチル(法令指定番号:479)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル(法令指定番号:410)

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗うこと。 刺激が続くようであれば、医師の診療を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 特有の危険有害性	水、泡消火剤、粉末消火剤 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法	このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護	空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(『8. 暴露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 床にこぼした場合は、滑って転倒の恐れがあるので、全量集めて処分すること。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 漏出物を直接、川、海、土壌などに流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	少量の場合、速やかに空容器や袋などに投入する。漏出した部分は吸着マットや紙タオルでふき取 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	取扱いは換気の良い環境のもとで、直接皮膚や目に触れないようにまた、微粉末を吸入しないように、保護マスク、保護手袋保護眼鏡等を着用して取り扱う。取扱い後は手洗い、口すすぎを励行する。
-----	-------	--

保管	安全取扱注意事項	目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。 換気の良い場所で取り扱うこと。 眼、皮膚との接触を避けること。 飲み込まないこと。
	衛生対策	取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。 「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守し、取扱い後は、必ず手や顔を洗い、うがいをする事。
	安全な保管条件	保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 容器を密閉して保管すること。 凍結、直射日光を避け、屋内で保管する。 保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。
	安全な容器包装材	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
フタル酸ジノルマルーブチル	未設定	5 mg/m ³	TWA 5 mg/m ³ , STEL -

設備対策 保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	取扱いは換気のよい場所で行う。 呼吸器保護具を着用すること。 保護手袋 保護眼鏡 保護服、保護長靴等
-------------	---	--

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態 形状 色	液体 液体 乳白色
臭い		微臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		7.0~9.0
融点・凝固点		約0℃
沸点、初留点及び沸騰範囲		約100℃
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		水に対して無限大に希釈可能
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
自然発火温度		自然発火せず
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
 化学的安定性
 危険有害反応可能性
 避けるべき条件
 危険有害な分解生成物

情報なし
 通常の取扱いにおいては安定である。
 通常条件では危険有害な反応は起こらない。
 5°C以下あるいは40°C以上とならないようにする。
 データなし

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。
 蒸気を吸引すると、頭痛をおこす場合がある。

ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテルとして

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
 眼に対する重篤な損傷性
 又は眼刺激性
 生殖細胞変異原性

中等度から強度の刺激性

中等度から強度の刺激性

経世代変異原性試験(優性致死試験): 陰性
 体細胞in vivo変異原性試験(小核試験): 陰性
 動物試験で妊娠率や胚数の減少の報告がある。
 実験動物で、肝臓、心血管系への影響が報告されている。

生殖毒性
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

フタル酸ジノルマルブチルとして

急性毒性(経口)
 急性毒性(経皮)
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

ラットLD50=6300 mg/kg
 ウサギLD50: ≥20,000 mg/kg
 ウサギ: 刺激性なし(OECD 404)

眼に対する重篤な損傷性
 又は眼刺激性

ウサギ: 刺激性なし(OECD 405)

呼吸器感作性
 皮膚感作性
 生殖細胞変異原性
 発がん性
 生殖毒性

皮膚感作性: 産業衛生学会 第2群
 皮膚感作性: 産業衛生学会 第2群
 In vivo小核試験: 陰性、染色体異常試験: 陰性
 EPA(1993): D
 ラットの生殖毒性及びラット、マウスにおける発生毒性影響の多くは親動物に体重増加抑制、肝臓重量増加などの一般毒性影響がみられない用量から発現している。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

マウスに吸入ばく露(エアロゾル)した試験で、250 mg/m³(ガイダンス値換算: 0.125 mg/L/4hr)で上気道刺激、呼吸抑制症状などがみられている(ACGIH(7th, 2001))。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ラットの4週間吸入(エアロゾル)ばく露試験で、区分1のガイダンス値の範囲内の低濃度(118 mg/m³: ガイダンス値換算濃度: 0.00036 mg/L/6 hr)から、局所影響として鼻腔粘膜細胞の過形成及び喉頭の扁平上皮化生が認められた(EU-RAR(2004))。

12. 環境影響情報

フタル酸ジノルマルブチルとして

水生環境有害性(急性)

魚類(イエローパーチ)96h-LC50=0.35 mg/L
 (NITE初期リスク評価, 2005他)

水生環境有害性(長期間)

甲殻類(ヨコエビ科の一種)の10日間NOEC = 0.10 mg/L (NITE初期リスク評価, 2005他)
 魚類(ニジマス)の99日間NOEC = 0.10 mg/L (NITE初期リスク評価, 2005他)

残留性・分解性	急速分解性がある(28日間BODによる分解度: 69%)	
13. 廃棄上の注意 残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。</p>	
汚染容器及び包装	容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。	
14. 輸送上の注意 国際規制	<p>海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code</p>	<p>該当しない Not applicable Not applicable</p>
国内規制	<p>航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報</p>	<p>該当しない 該当しない 該当しない 非該当 非該当</p>
特別の安全対策	<p>該当しない 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 直射日光、雨水に当たらないように注意する。 その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。</p>	
15. 適用法令 化審法 労働安全衛生法	<p>優先評価化学物質(法第2条第5項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)</p>	
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)	
海洋汚染防止法	<p>個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(X類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)</p>	
外国為替及び外国貿易法 特定有害廃棄物輸出入 規制法(バーゼル法)	<p>輸出貿易管理令別表第1の16の項 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)</p>	

化学物質排出把握管理
促進法 (PRTR法)

第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1
条別表第1)

16. その他の情報
記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。